



平成 21 年 2 月 20 日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369：東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊
(Tel: 03-6744-2882)

「事業再生プラン 2009」の策定に関するお知らせ

当社は、平成21年 2 月 20日開催の取締役会において、「事業再生プラン2009」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

基盤事業であるテーラーメイド医療領域では、複数の事業において収益性を確立できる見込みです。特に基盤事業における成果として、技術蓄積と実績を確立したインフォマティクス事業を強化いたします。クライアントニーズから開発に着手しましたパッケージソフトウェアは、プレマーケティングにおける評価も好調であり、高収益事業として大きく展開していけるものと見込んでおります。また、基盤技術を活用した個人向けヘルスケアサービスとして、DNA プライベートバンクサービスを重要な収益化事業と捉えております。同事業は 2008 年 5 月にサービスインしており、初期会員からのフィードバックを基にサービス内容の見直しをさらに行い、クリニックとの提携強化を行い本格的なマーケティング展開を実施しております。

投資/育成事業は、管理体制強化等により財務改善に貢献する成果を得られております。今後は、経営を安定化させる重要事業として位置づけていく計画となっております。こうした投資/育成事業の積極化は、現在の経営層を中心としたネットワークにより実現可能と考えております。

さらにコストについても見直しを行い、経営の健全化を図ります。

○「事業再生プラン 2009」の詳細

次ページ以降の「事業再生プラン 2009」をご参照下さい。

以上

2009年2月20日

メディビックグループ 事業再生プラン2009

MediBic
株式会社メディビックグループ
(証券コード2369 東証マザーズ)

1. サマリー 事業再生プランの概要

プランの概要

1. 基盤技術の活用

テーラーメイド医療の実現を目指す創業理念に集中します。

2. 選択と集中

高収益事業に経営リソースを集中させることにより、企業の収益性を改善します。

3. コスト削減

拡大基調路線からコストを見直し、少数精鋭での活動を目指します。

4. 投資/育成事業の積極化

管理体制等を強化し、積極的な活動により収益性を高めます。

2. 企業理念

個人の体質に合わせたテーラーメイド創薬だけでなく、予防や健康管理まで体質に合わせた医療および健康生活の実現を目指します。

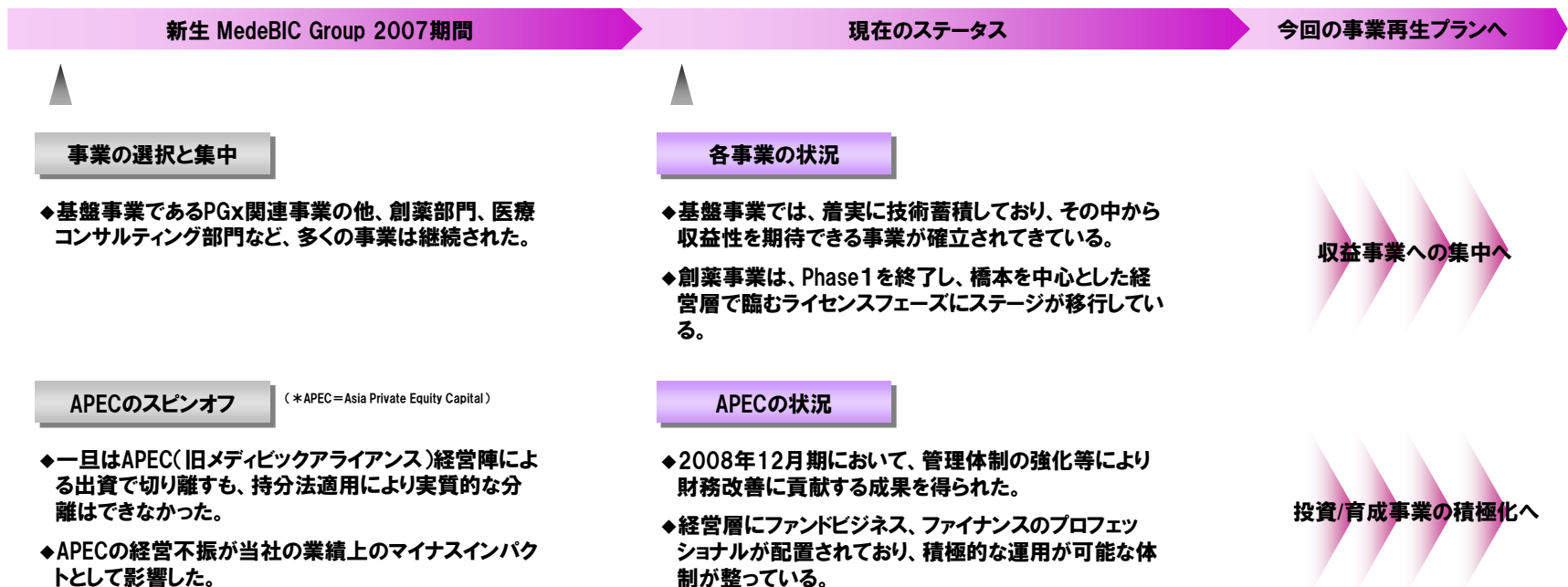
MediBIC創業理念

個人に適した
テーラーメイド医療の
実現を目指す

3. 前中期計画と現在の状況

本再生プランは、『新生Medi BIC Group 2007』における反省点を踏まえた計画立案を行いました。

これまでの推移



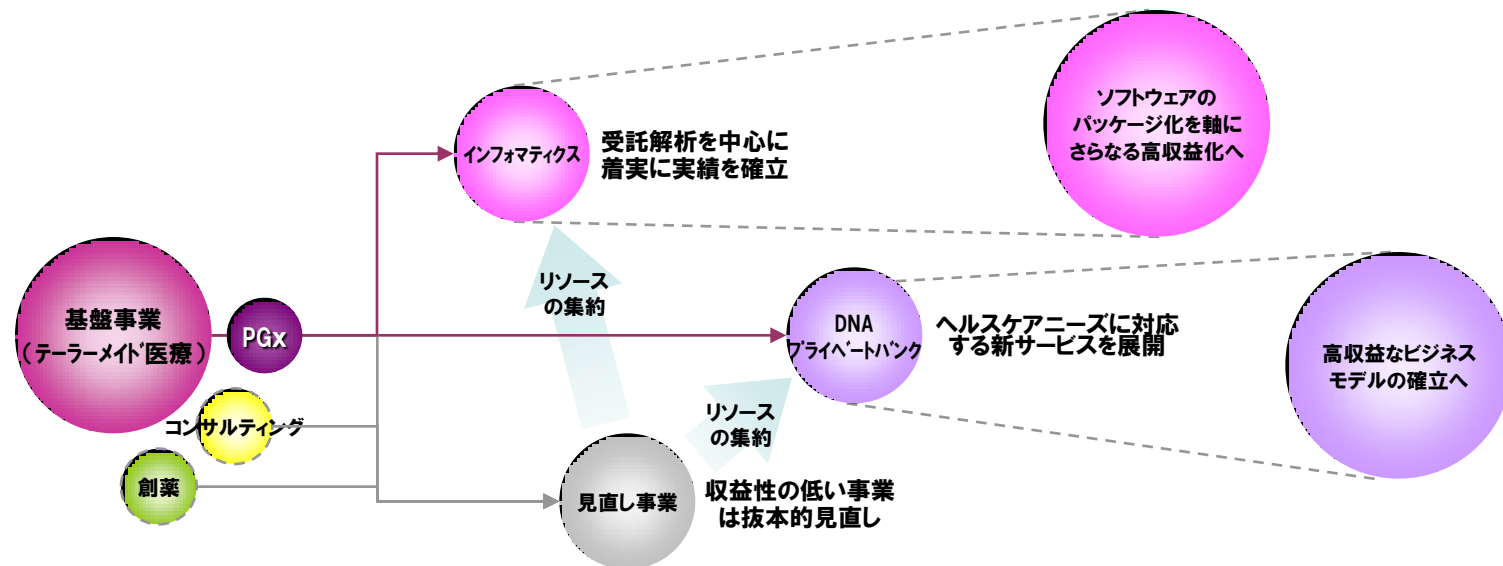
高収益事業が確立してきている現在、事業の選択と集中を図る時期として良好と判断しています。

管理体制の整備が整った今後は、むしろ積極的に活動する方針としています。

4. 基盤事業における新たな展開

基盤事業であるテーラーメイド医療領域では、複数の事業で収益化が可能な展開です。

基盤事業の展開



PGx事業で培ってきた基盤技術は、事業として確立してきたインフォマティクス分野に注力していきます。
ヘルスケア領域の市場拡大を背景に、基盤事業を活用した事業を本格展開していきます。

4. 基盤事業における新たな展開 インフォマティクス事業

基盤事業における成果として、技術蓄積と実績を確立したインフォマティクス事業を強化いたします。

インフォマティクス

実績

- ◆基盤技術領域を中心に、解析受託およびシステム開発で着実に実績をあげてきた。

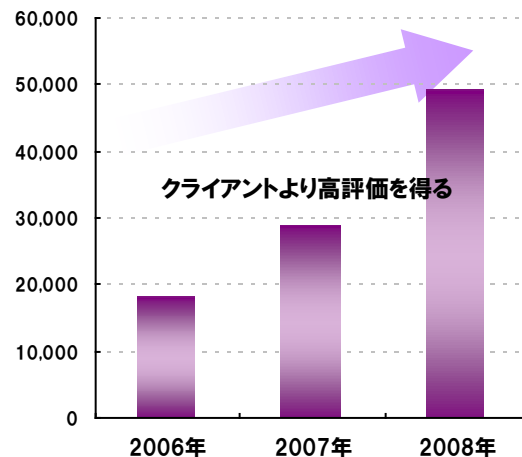
課題点

- ◆しかし、完全に個別対応型のビジネスモデルであったため、作業効率およびキャパシティー面で問題があった。

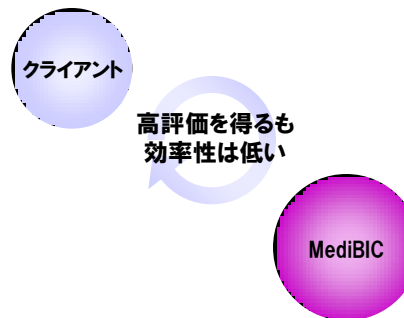
施策

- ◆汎用性を持たせたパッケージ(2009年3月発売予定)の開発が終了し、より高収益モデルとして事業展開が可能となった。

売上(千円)



個別対応型



各事業の状況

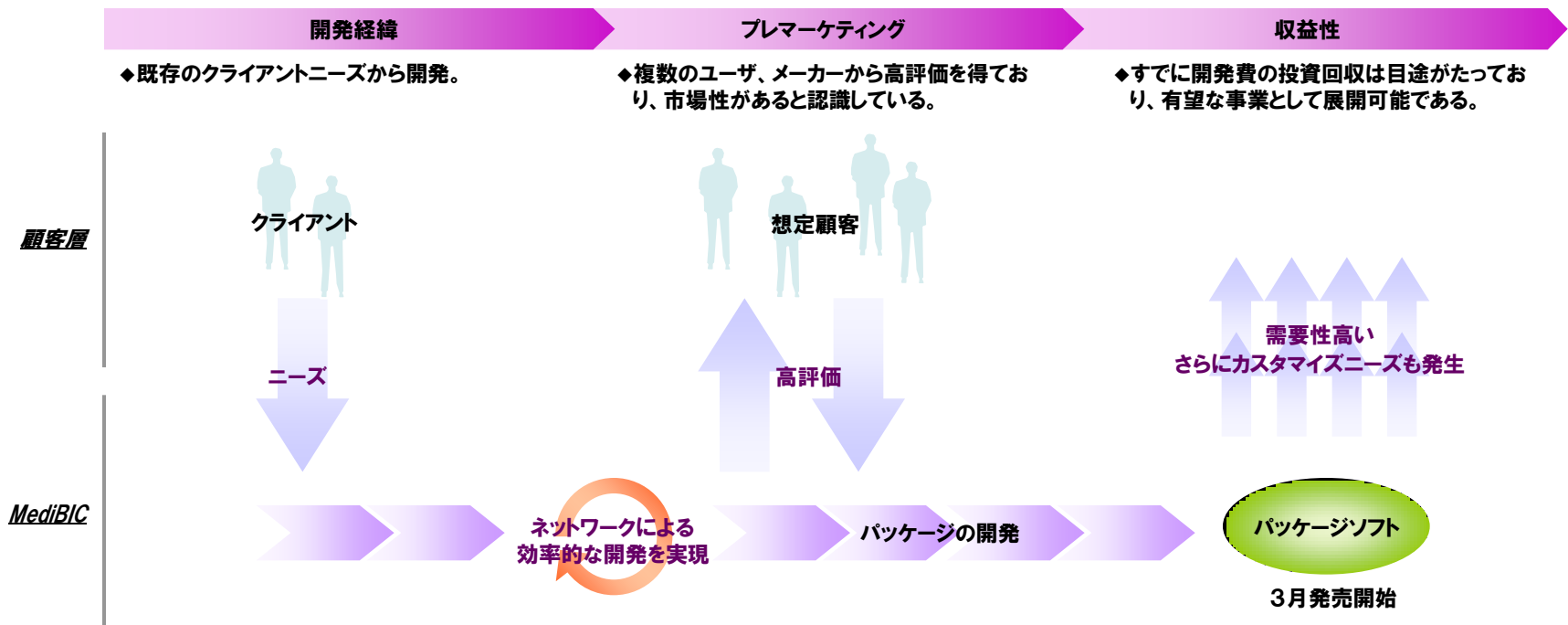


基盤事業における解析技術は、クライアントの評価も得て、着実に実績をあげてきました。
パッケージの開発を機に、今回の再生プランではインフォマティクス事業に注力し事業を拡大していきます。

4. 基盤事業における新たな展開 インフォマティクス事業

パッケージシステムは、顧客ニーズを基に開発されたものであり、大きく展開できると見込んでいます。

パッケージの特徴

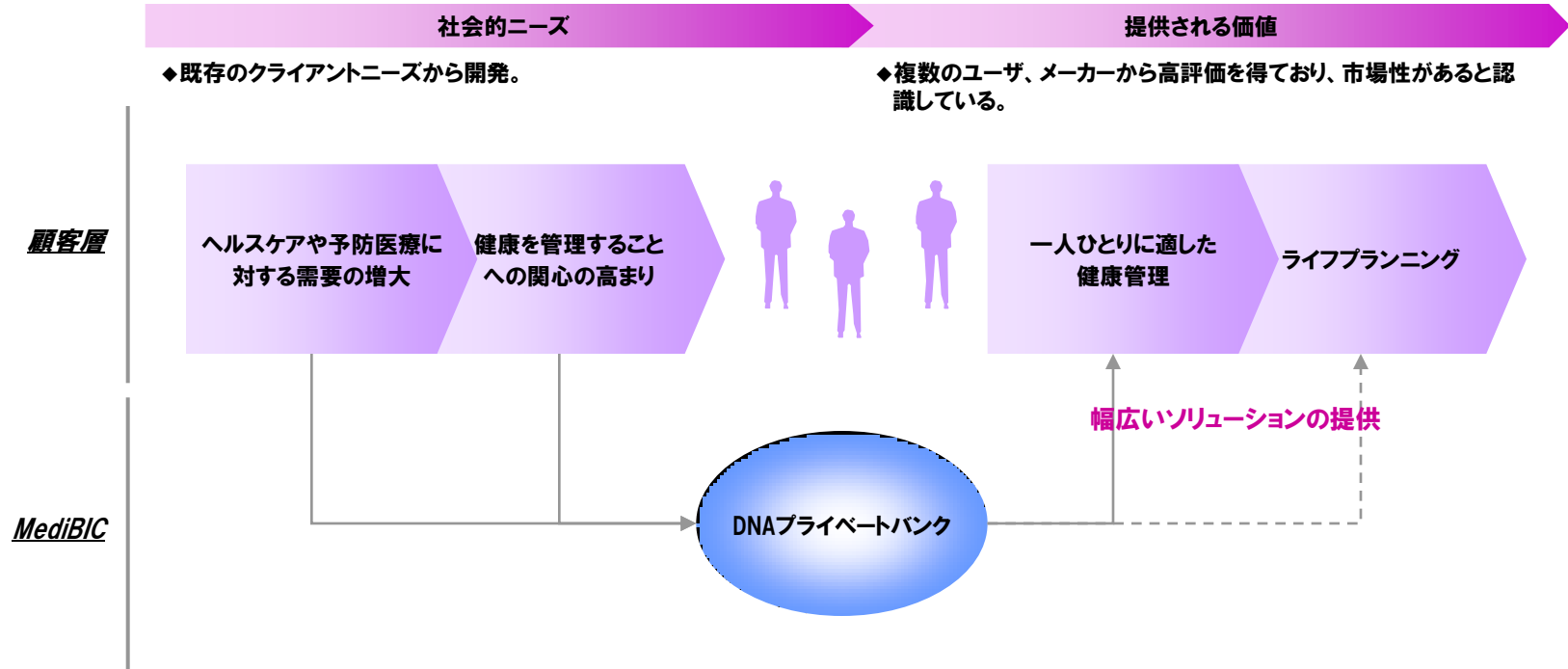


基盤技術として培った解析システムを製品化し、より多くの顧客に提供できるようになりました。なおかつ、当社ネットワークで高効率な開発やカスタマイズ対応が可能であり、さらなる収益を見込んでおります。

4. 基盤事業における新たな展開 DNAプライベートバンク

DNAプライベートバンクは、基盤技術を活用した個人向けヘルスケアサービスとして、重要な収益化事業と捉えております。

社会的意義と市場性

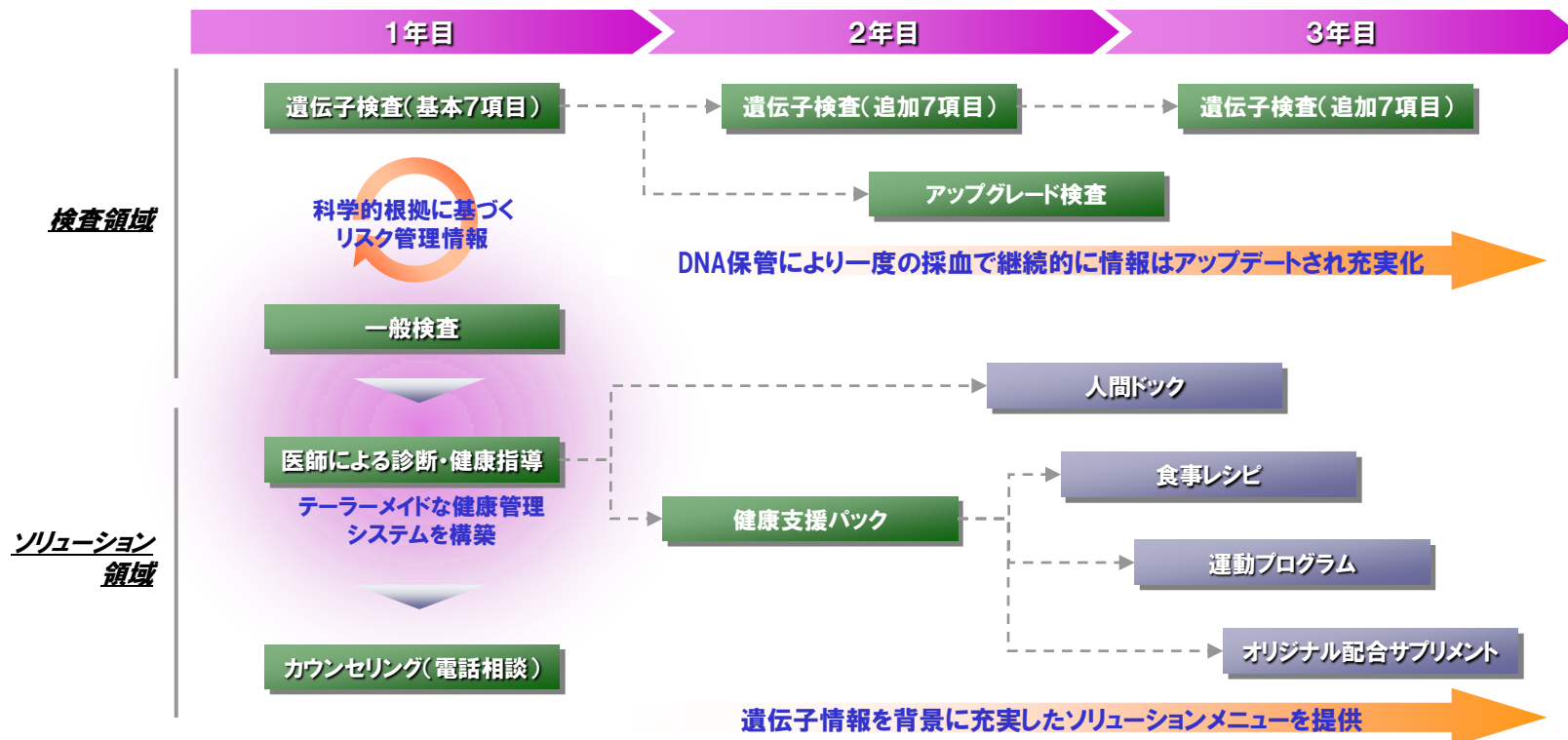


科学的なエビデンスに基づいたテーラーメイドなヘルスケアサービスの実現を目指しております。

4. 基盤事業における新たな展開 DNAプライベートバンク

遺伝情報に基づいて一人ひとりに提供されるソリューションは、好評を得ております。

DNAプライベートバンク

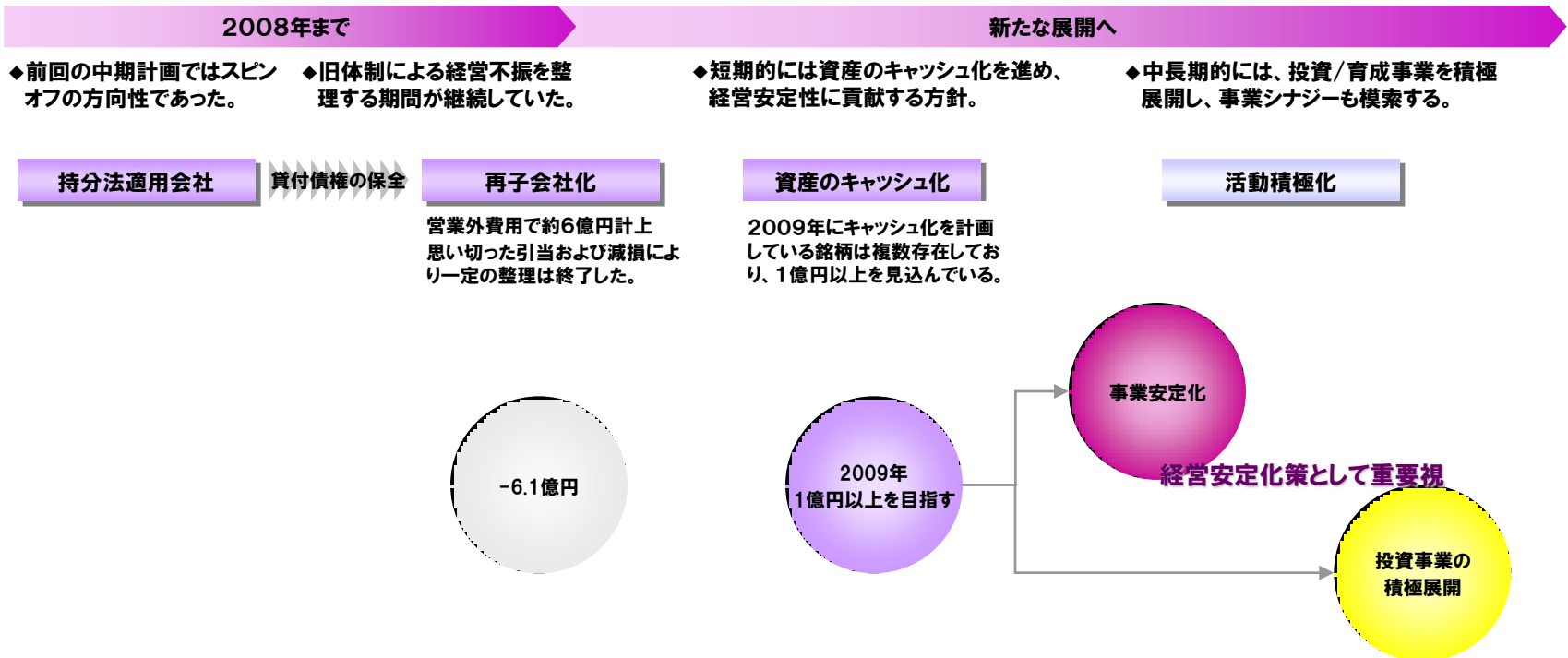


2008年5月のサービスイン後、クリニックとの提携を深めるなどの体制強化を行ってきました。
今後もより顧客ニーズに合わせたソリューションの提供を目指します。

5. 投資/育成事業の展開 APEC

投資/育成事業は、経営を安定化させる事業への転化を図ります。

投資/育成事業の推移



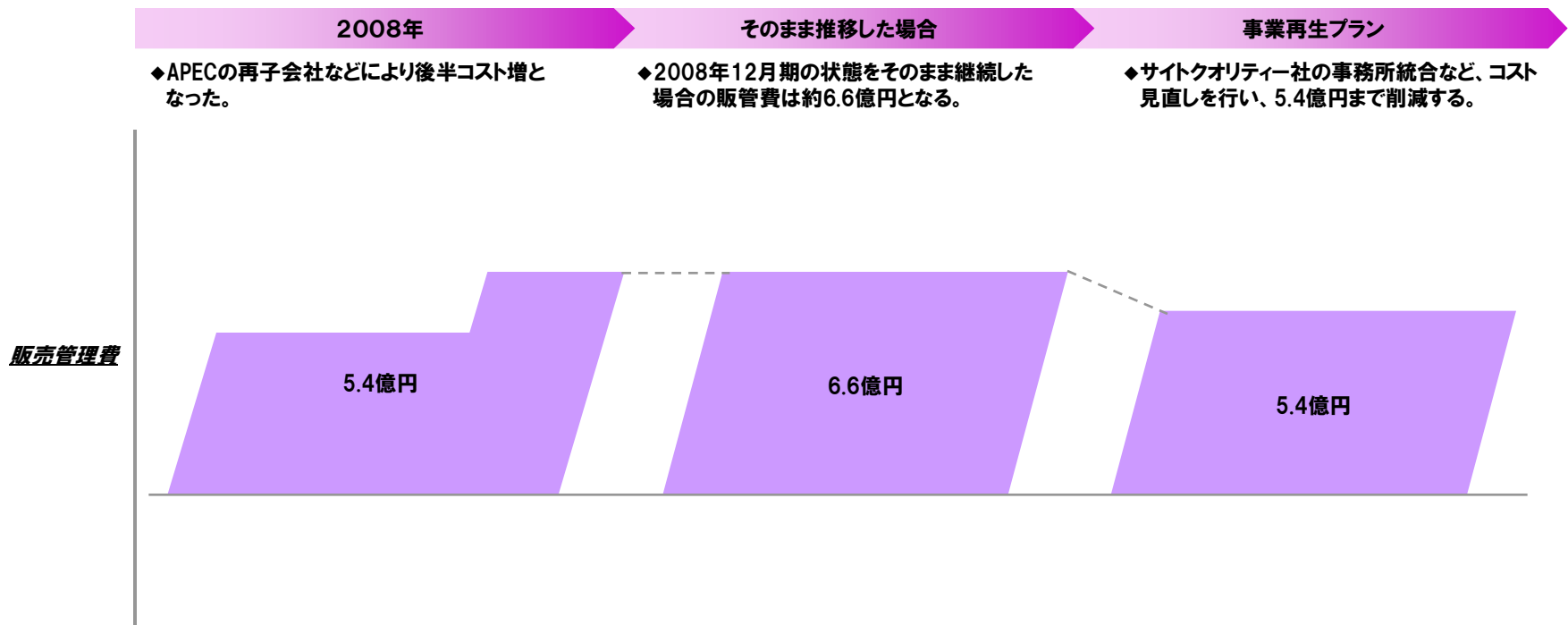
再子会社化を機に管理体制の強化を行い、積極的な活動にシフトする体制を整えました。

資産のキャッシュ化およびその後の積極展開も視野に入れることが、現在のバイオベンチャーにとって重要と考えております。

6. 集中と選択によるコスト削減効果

事業の再構成と並行してコストの見直しも実施いたします。

コストの推移



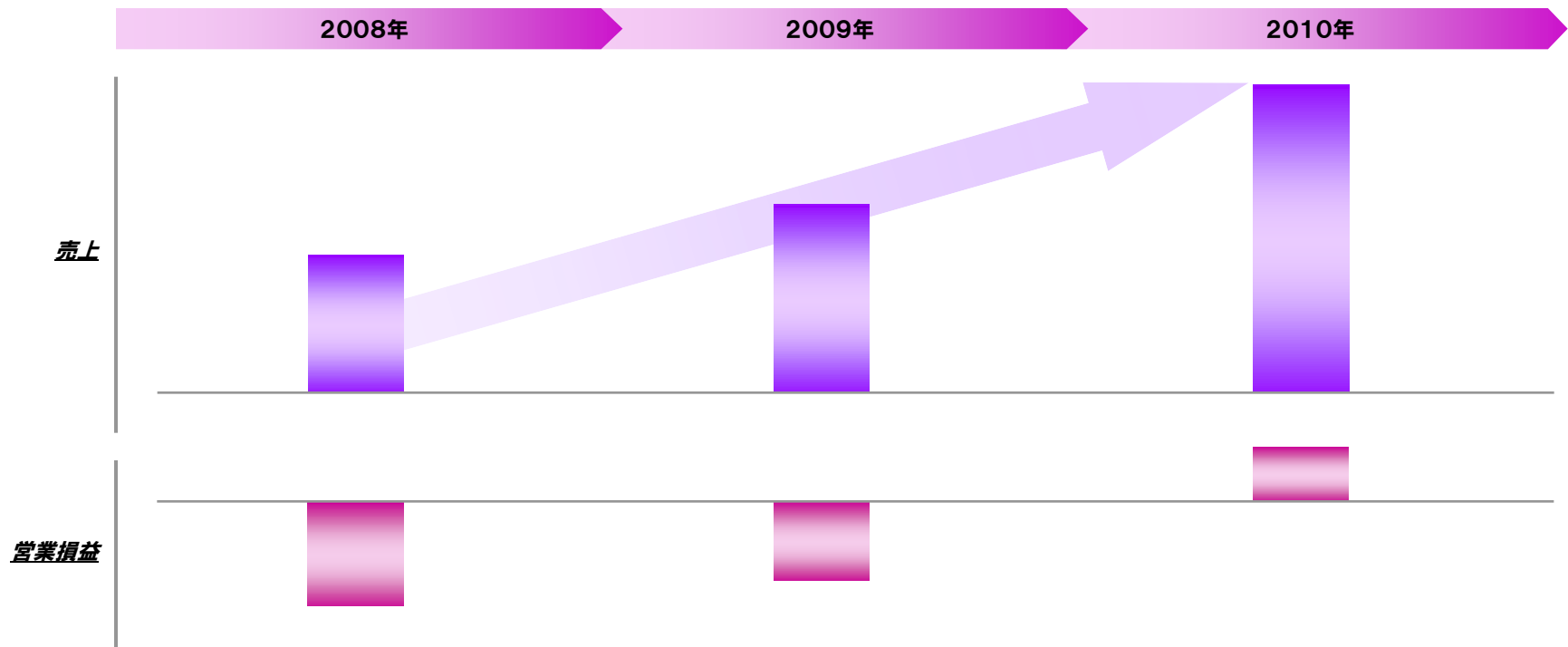
APECの再子会社化により管理コストは2008年12月期後半に増大しました。

サイトクオリティーの事務所統合をはじめとしたコスト見直しを行うことにより約1億円の削減を目指します。

7. 数値上の目標

事業再生プランの実行により、2010年12月期での営業損益の黒字化を目指します。

プランの数値目標



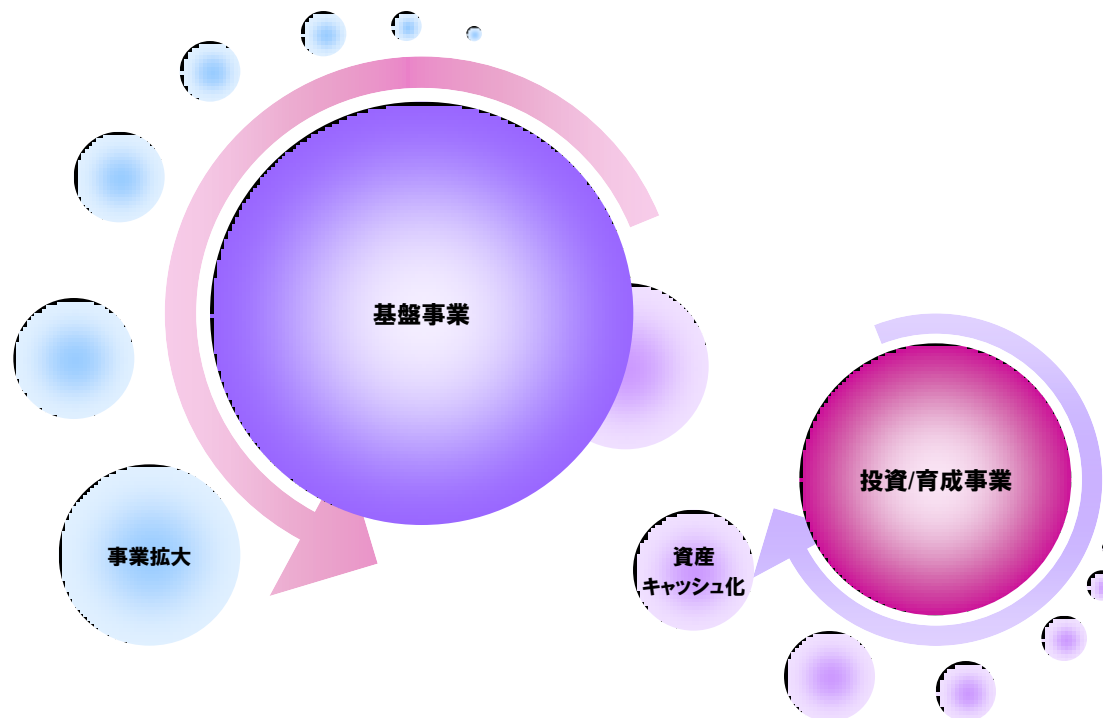
収益事業への経営リソースの集中、およびコスト削減により営業損益における大幅な改善を図ります。

これらにより、2010年12月期での営業損益の黒字化を目指します。

8. 再生プランが目指す企業の姿

基盤事業と投資/育成事業の両輪で効率的に経営を展開していきます。

新生メディビックの姿



収益事業への集中および資産のキャッシュ化を行うことにより早期に利益が出る体質を目指します。

投資育成事業を積極化し、経営の安定化を図ると共に新たな事業展開を模索します。

MediBic

株式会社メディビックグループ

www.medibic.com